

学 会 彙 報

(昭和六十年十二月～六十一年五月)

◇研究発表例会

日時 昭和六十年十一月二十二日(金)

午後四時十分より

場所 一一〇二教室

発表者及題目

一、盤珪の仏道観について

博士後期課程三回生

田原 圭介氏

一、涅槃經における仏性と如来藏に

ついて

博士後期課程三回生

藤谷 信道氏

一、非沢減について

本学助手 宮下 晴輝氏

◇公開講演会

日時 昭和六十年十二月三日(火)

午後四時十分より

場所 尋源講堂

講師 京都大学教授 服部正明氏

講題 唯識思想体系における自我意識

について

講演後、鳳舞にて懇談会をもった。

◇卒論修論梗概発表会

日時 昭和六十一年一月十七日(金)

午後四時～六時

場所 一一〇二教室

梗概発表後、学内食堂において送別

懇談会をもった。

◇新入会員歓迎会並に総会

日時 昭和六十一年五月十四日(水)

午後十二時五十分～二時三十分

場所 一二〇四教室

学会長小川一乗教授より、「仏教学

への道しるべ」と題して記念講演が

あり、学会活動及び教員スタッフの

紹介があった。

◇人事

退職(昭和六十一年三月三十一日付)

桜部 建教授

新任(四月一日付)

文学部専任講師 宮下 晴輝氏

講師(非常勤) 桜部 建氏

兵藤 一夫氏

特別研修員 織田 頭祐氏

移籍(四月一日付)

文学部教授(短期大学部より)

古田 和弘氏
短期大学部教授(文学部より)

三桐 慈海氏

◇小川・長崎両教授は文学博士の学位を
取得された。

小川一乗教授(昭和六十一年三月二十

一日付)

論文題目

「月称(Candrakīrti)の空性思想」

長崎法潤教授(昭和六十一年四月十七

日付)

論文題目

「ジャイナ認識論の研究」

◇会員出版書目

雲井昭善博士古稀記念『仏教と異宗

教』平楽寺書店 昭和六十年十二月、

B5判七五五頁、二五、〇〇〇円

舟橋尚哉著『ネパール写本対照による大

乗莊嚴經論の研究』国書刊行会 昭

和六十年十二月刊、A5判、三〇六頁、

八、五〇〇円

◇昭和六十年度

修士論文・卒業論文題目

昭和六十年度に提出された仏教学関係

の修士論文・卒業論文のうち、左記の論文が審査を通過した。

△大学院修士論文

○仏教学専攻

△文学部仏教学科卒業論文

○仏教学

※リボジトリ非公開

※リボジトリ非公開

※リポジトリ非公開

関連科目

仏教学研究

縁起の論理と歴史的展開

講師 佐々木現順

グプタ時代におけるインド仏教の展開

講師 佐々木教悟

天台実相論

教授 福島 光哉

日本天台の研究

講師 白土 わか

仏教学研究(文献研究)

梵文俱舍論疏随眠品

インド学研究

講師 舟橋 一哉

インド思想の課題

講師 横超 慧日

インド学研究(文献研究)

講師 山口 恵照

Sarvadarsanasaṅgraha

講師 雲井 昭善

文学部専門課程仏教学科

▽仏教学

講義

仏教基礎学 仏教の基礎知識

教授 長崎 法潤

◇昭和六十一年度仏教学関係講義題目

大学院文学研究科仏教学専攻

(修士・博士後期課程)

主要科目

仏教学特殊研究Ⅰ(講義)

仏教論理学の展開 教授 長崎 法潤

仏教学特殊研究Ⅲ(演習)

ジャイナ認識論の研究

教授 長崎 法潤

仏教学の諸問題

教授 鍵主 良敬

中観思想の研究

教授 小川 一乗

仏教学特殊研究Ⅱ(文献研究)

成唯識論 教授 鍵主 良敬

仏教学概論Ⅰ 勝義と世俗の問題

教授 小川 一乗

仏教学概論Ⅱ

教授 鍵主 良敬

仏教学講義Ⅰ

インド仏教教理史

仏教学講義Ⅱ

助教 片野 道雄

仏教学講義Ⅲ

中国仏教教理史

仏教学講義Ⅳ

教授 古田 和弘

仏教学講義Ⅴ

仏教論理学の展開

仏教学講義Ⅵ

教授 長崎 法潤

仏教学講義Ⅶ

インド思想の課題

仏教学講義Ⅷ

講師 山口 恵照

仏教学講義Ⅸ

原始仏教思想の形成

仏教学講義Ⅹ

専任講師 吉元 信行

仏教学講義Ⅺ

初期唯識論書の研究

助教 舟橋 尚哉

仏教学基礎講読A 維摩經

専任講師 小谷信千代

仏教学講読10

一乗要決

講師 白土 わか

仏教学基礎講読B 維摩經

助教授 片野 道雄

仏教学講読11

欧文仏典

講師 R・F・ローズ

仏教学基礎講読C 維摩經

専任講師 一色 順心

演習

仏教学演習1

Prasannapada 教授 小川 一乗

仏教学講読1

Buddhacarita

専任講師 宮下 晴輝

仏教学演習2

華嚴五教章 教授 鍵主 良敬

仏教学講読2

1の思想 バガヴァッド・ギータ

講師 小林 圓照

仏教学演習3

法華遊意 教授 三桐 慈海

仏教学講読3

Maha Pirī Pota

講師 柏原 信行

仏教学演習4

法華玄義 教授 福島 光哉

仏教学講読4

Samantapāsādikā

講師 桜部 建

仏教学演習5

大乘義章 教授 古田 和弘

仏教学講読5

論理学入門

専任講師 白館 戒雲

△インド学

仏教学講読6

法華經

教授 福島 光哉

講義

仏教基礎学

仏教の基礎知識 教授 長崎 法潤

仏教学講読7

大般涅槃經

教授 古田 和弘

仏教学概論I

勝義と世俗の問題 教授 小川 一乗

仏教学講読8

注維摩經

専任講師 木村 宣彰

仏教学概論II

教授 鍵主 良敬

仏教学講読9

華嚴經探玄記

専任講師 一色 順心

インド学講義I

仏教論理学の展開 教授 長崎 法潤

インド学講義2

インド思想の課題 講師 山口 恵照

インド学講義3

初期唯識論書の研究 助教授 舟橋 尚哉

講読

インド学基礎講読

入門インド学 教授 長崎 法潤

インド学講読1

Buddhacarita

インド学講読2

1の思想 バガヴァッド・ギータ

インド学講読3

Maha Pirī Pota

インド学講読4

Samantapāsādikā

演習

インド学演習

タルカパーシャ 教授 長崎 法潤

講義

△共通関連科目

梵語

梵語文法I

専任講師 宮下 晴輝

梵語文法II

講師 松田 和信

梵語文法III

講師 兵藤 一夫

パリー語

バーリ語文法 専任講師 吉元 信行
チベット語

チベット語文法Ⅰチベット語古典文法

専任講師 白館 戒雲

チベット語文法Ⅱ 現代チベット語の

文法および会話

専任講師 白館 戒雲

ヒンディー語

ヒンディー語文法 ヒンディー語とその

文化的背景 講師 肥塚美和子

編集後記

「仏教学セミナー」第四三号をおとどけします。

御多忙のところ本号に玉稿をおよせいただいた諸先生方に御礼申し上げます。

「唯識思想体系における自我意識について」と題する服部正明先生の玉稿は、昨年十二月三日、大谷大学仏教学会主催の講演会においてお話しいただいた御講演の筆録であります。先生がヨーロッパの大学に御出講になる直前に、お忙しいところ加筆していただきました。先生に深く感謝の意を表します。

福原隆善先生には、昭和五九、六〇年度の二ヶ年、本学に日本仏教の講義に御出講いただきましたが、その機会に御無理にお願いして、本号に玉稿をいただくことができました。

書評には、一郷正道先生の大著『中観莊嚴論の研究——シャーンタラクシタの思想——』をとりあげさせていただきます、David Jackson 先生に書評をお願いしました。

悲しいニュースですが、野沢静証先生が去る一月一日にお亡くなりになりました。先生の御逝去は、大谷大学仏教学会にとりまして深い悲しみであります。小川一乗教授に仏教学会を代表して追悼文を書いていただき、本号に掲載しました。編集子は、大谷大学の学生のころ、野沢先生の講義を受講したことがあります。厳格な先生の学問に啓発されるところ大でありました。ここに、謹んで哀悼の意を表します。

今号より編集委員として、吉元信行、一色順心両専任講師とともに、本誌の編集を担当することになりました。「仏教

学セミナー」誌の伝統をまもりながら、新たな発展のために微力ながら努力するつもりであります。会員、読者諸氏からのあたたかい御指導をお願いする次第であります。

本誌の創刊当初、仏教学研究室の一員として「仏教学セミナー」の編集にたずさわった経験があります。学術誌と啓蒙誌との両面をそなえた本誌の編集方針のもとで、諸先生方から御指導をいただきながら、一号一号の編集に全力を注いだころのことが懐しく思い出されます。本誌の基本的な編集方針については、一貫して受継がれていることは言うまでもありません。しかし、創刊より四三号を数え、二十一年間の歳月をくぐりぬけてきています。その間、日本の社会状況は変わり、仏教研究についても大きな進展がありました。二十一年間にわたる本誌の歩みを確かめながら、充実した内容の編集のために尽くすつもりであります。本誌に対する御意見、御批判をおよせ下さいますようお願い申し上げます。（長崎）